

## 競技注意事項

1. 本大会は、2007年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
2. 練習について
  - (1) 8日(土)、9日(日)の練習は原則として大原高等学校グラウンド(9時00分～17時00分まで使用可)と雨天走路とする。第2日目および第3日目の競技開始10分前までトラックで練習することができる。
  - (2) 跳躍・投擲練習は、審判員の指示に従って、競技開始前に行う。
  - (3) 9月7日(金)の平塚競技場での練習は10時00分から16時00分までとする。平塚競技場の使用については、学連幹事の指示に従って、事故のないように十分注意する。
3. 招集について
  - (1) 招集所は、マラソングート付近(100mスタート地点後方)に設置する。なお、ハンマー投は日本体育大学健志台陸上競技場とする。
  - (2) 各種目の招集時刻は下記の通りとする。なお、招集の「開始」・「完了」の時刻は、競技日程に示した時刻(競技開始)を基準とする。
  - (3) 代理人による点呼は認めない。同時進行種目への出場競技者は「重複出場届」(「インフォメーション・センター(正面玄関前)」と招集所に用意)を必ず競技者係に提出する。
  - (4) 招集完了時刻に遅れると、該当種目を棄権したものととして処理する。

### <トラック競技>

予選・準決勝						決勝					
100m・200m ・100mH・110mH			400m・400mH ・800m(タイムレース)を含む			トラック種目 (5000m・10000m競歩を除く)			5000m ・10000m競歩		
組	開始	完了	組	開始	完了	開始	完了	組	開始	完了	
1～2	競技開始 25分前	競技開始 15分前	1～2	競技開始 25分前	競技開始 15分前	競技開始 25分前	競技開始 15分前	1	競技開始 25分前	競技開始 15分前	
3～4	” 15分前	” 5分前	3～4	” 20分前	” 10分前			2	競技開始 同時刻	競技開始 10分後	
5～6	” 5分前	” 5分後	5～6	” 15分前	” 5分前						
7～8	” 5分後	” 15分後	7～8	” 10分前	” 同時刻						
9～	” 15分後	” 25分後	9～	” 5分前	” 5分後						

<フィールド競技>

棒高跳		砲丸投		他のフィールド種目	
開始	完了	開始	完了	開始	完了
競技開始 100分前	競技開始 90分前	競技開始 40分前	競技開始 30分前	競技開始 50分前	競技開始 40分前

4. 不出場（棄権）について

当日やむなく出場しない場合は、「不出場届（インフォメーション・センターと招集所に用意）」に必要事項を記入して、競技者係に提出する。

5. ナンバーカードについて

ナンバーカードは2枚配布する。

トラック種目の出場者は、腰ナンバー標識（5000m・10000m競歩については両腰）をつける。腰ナンバー標識は競技者係で配布し、レース終了後回収する。

ナンバーカードの地色、数字の色は下記の通りとする。

男子	黄色地×黒数字
女子	ピンク地×黒数字
5000m・10000m競歩	白地×黒数字

5000m・10000m競歩の出場者には、白地×黒数字のナンバーカード（レース用）を配布する。腰ナンバー標識は、レース終了後回収する。

6. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、高跳用ポールは個人所有のものを使用する。
- (2) ハンマーとやりは、主催者が用意するもの以外に個人所有のものを使用することができる。ただし、事前に検定を受けたものを借り上げし、全競技者が共用できるものとする。ハンマーとやりの検定と返却は、以下の通りとする。

	検定		返却	
	場所	時刻	場所	時刻
ハンマー	日本体育大学健志台 陸上競技場	招集開始 1時間前まで	日本体育大学 健志台陸上競技場	競技終了後
やり	平塚競技場用器具庫	招集開始 1時間前まで	平塚競技場用器具庫	

7. 競技について

- (1) 競技者は大学の公式ユニフォームを着用する。また、競技場内への入退場は、競技役員の指示に従う。

- (2) 競技者はビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバー、携帯電話または、それらに類似する機器を競技エリアに持ち込んではならない（「第144条 助力」参照）。
- (3) 100m・200m・100mH・110mH は、条件によってバックストレートで行うことがある。
- (4) 800m以上の競技においては、タイムレースとする。
- (5) 1500mは、参加出場人数によってグループスタートを行う場合がある。
- (6) 5000m以上の競技においては、気象状況によって、給水を行うことがある。
- (7) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、原則として下記の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子走高跳	1 m 9 5	2 m 0 0	2 m 0 5	2 m 0 8	2 m 1 1	2 m 1 4	2 m 1 7	3 c m
女子走高跳	1 m 5 5	1 m 6 0	1 m 6 5	1 m 7 0	1 m 7 3	1 m 7 6	1 m 7 9	3 c m
男子棒高跳	4 m 7 0	4 m 8 0	4 m 9 0	5 m 0 0	5 m 1 0	5 m 1 5	5 m 2 0	5 c m
女子棒高跳	3 m 0 0	3 m 1 0	3 m 3 0	3 m 5 0	3 m 6 0	3 m 7 0	3 m 8 0	5 c m

- (8) 男子三段跳決勝は2ピット（A、B）で同時に行う。「トップエイト」からは1ピット（A）で実施する。

## 8. 競技の結果・番組編成について

- (1) 競技結果および準決勝・決勝のスタートリスト等は正面玄関前に掲示する。
- (2) 準決勝・決勝の組み合わせとレーン順は、主催者が決める。
- (3) 同タイム者があってレーンが不足する場合は、写真を拡大して、進出者を決める。それでも決まらない場合は当該競技者もしくは代理人により抽選を行って、決定する（「第167条 同成績」参照）。

## 9. 抗議・上訴について

競技進行中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、その競技者または代理人により結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次ラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない（「第146条 抗議と上訴」参照）。窓口はインフォメーション・センターとする。

## 10. ドーピング検査の実施について

出場競技者に対するドーピング検査を実施する。検査対象に指名された場合は、担当役員の指示に従うこと。

## 11. 表彰について

- (1) 各種目第3位までに入賞した競技者には賞状と副賞を贈与するので、競技終了後、表彰係の指示に従うこと。また、第4位から第8位までに入賞した競技者には賞状を贈与するので、競技終了後インフォメーション・センターで受け取ること。
- (2) 表彰を受ける際には、上衣は各校の公式ユニフォーム（ナンバーカード貼付）、下衣は公式ジャージを着用すること。

## 1 2. 商標について

競技者は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守する。基準を超える商標については必ずガムテープ等で隠すこと。

## 1 3. 更衣室の使用について

更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自が責任を持って管理すること。

## 1 4. その他

(1) 競技中の事故等によって負傷した場合は、医師が救急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする（ただし、「日本学生陸上競技総合補償制度」が適用される）。また、事故の結果について本連合では一切責任を負わない。

(2) 盗難・紛失について

大会期間中に主催者に届けられた物品等については一時的にインフォメーション・センターで保管するが、その他の盗難・紛失に関しては責任を負わない。

(3) 平塚市総合公園平塚競技場の開門および閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
9月 8日 (土)	7時00分	最終競技終了後30分
9月 9日 (日)	8時30分	16時30分

開閉門時刻は厳守して競技場に入出入りすること。

(4) その他不明な点については、インフォメーション・センターに問い合わせること。